

Tidal Enterprise Orchestrator : デバッグ レベルのログをオンにする方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、問題のトラブルシューティングにおけるサポートや開発を支援するために、Tidal Enterprise Orchestrator (TEO) のデバッグ レベル ログをイネーブルにする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Tidal Enterprise Orchestrator に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

手順

デバッグ レベル ログは問題が Tidal Enterprise Orchestrator システムに発生する場合開発を与え、詳細をサポートします。

注: この全体のサーバ (ちょうどマスター ログファイル) を渡ってデバッグするために記録する
プロセスをセット。

デバッグ レベル ログをつけるためにこれらのステップを完了して下さい:

1. TEO サービスを停止して下さい。
2. TEO のインストール ディレクトリに行ってください (デフォルトで TEO ディレクトリはプログラ
ム ファイル/Cisco/Tidal Enterprise Orchestrator です。
3. Tidal.Automation.Server.Exe.Config を編集して下さい。
4. Level= "へのロギング セクションおよび変更 Level= " error "の下。
5. ファイルを保存し、TEO サービスを再開して下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)